

Title: 「思い出だけ捨てればいいじゃない。」



思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年10月 アーカイブ

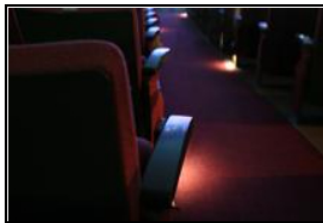
06.10.23

ホールと音響さん

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)



ホールでは、いつも音響さんを素敵だな、と思う。

こんなツマミだらけのよくわからない難しそうな機械を、ひとりで動かしているんですもの。実は私の姉は音響さんである。仕事をしている姿を見たことはないけれど、こうやってるんだなぁと思うと、かっこいいなと思う。

● 最近のエントリー

- 📅 [ホールと音響さん](#)  
(2006.10.23)
- 📅 [今日 \(十月十九日\)](#)  
(2006.10.19)
- 📅 [後期は渋谷で](#)  
(2006.10.14)
- 📅 [アビーロードの思い出](#)  
(2006.10.11)

● アーカイブ

- 📅 [2011年12月](#)
- 📅 [2011年02月](#)
- 📅 [2010年02月](#)
- 📅 [2010年01月](#)
- 📅 [2009年09月](#)
- 📅 [2009年07月](#)
- 📅 [2009年05月](#)
- 📅 [2009年04月](#)
- 📅 [2008年11月](#)
- 📅 [2008年10月](#)
- 📅 [2008年09月](#)
- 📅 [2008年05月](#)
- 📅 [2008年01月](#)
- 📅 [2007年12月](#)
- 📅 [2007年11月](#)
- 📅 [2007年10月](#)
- 📅 [2007年09月](#)
- 📅 [2007年08月](#)
- 📅 [2007年07月](#)
- 📅 [2007年06月](#)
- 📅 [2007年04月](#)
- 📅 [2007年03月](#)
- 📅 [2007年01月](#)
- 📅 [2006年12月](#)
- 📅 [2006年11月](#)
- 📅 [2006年10月](#)
- 📅 [2006年09月](#)
- 📅 [2006年08月](#)
- 📅 [2006年07月](#)
- 📅 [2006年06月](#)
- 📅 [2006年05月](#)
- 📅 [2006年04月](#)
- 📅 [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

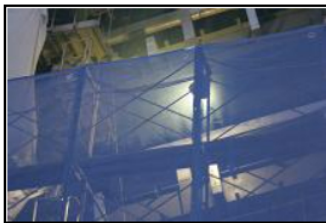
06.10.19

今日 (十月十九日)

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)



06.10.14

後期は渋谷で

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)



渋谷はやっぱすごいとこだー

人の数とか、  
コンクリート固めの感じとか、  
ビルの量とか。  
でももう平気に思える。  
人間の順応能力はすごいもんだ。

その時々の

めと罵いたのか、  
みんなに久々に会ったら、  
みんなしっかり化粧とかしてたことだ。  
半年も野放しだったのに、  
よくみんなめんどくさくなんないね。

今日は、海外フィールドワーク報告懇親会っていうので学校に行った。  
たくさんの人が来ていた。

改めて、多くの人たちの協力があって、  
みんなが無事帰ってこられたんだなと思った。

鈴木先生は「ほんとお前ら、恵まれすぎだよな！」と言っていた。

私もそう思う毎日です。

私達のフィールドワークにご協力して下さった全ての方に、  
最上級の「ありがとうございます」を伝えたいです。  
そして、先生方がしてくれた話に、  
私はさりげなくじ〜〜〜んと聴いていた。

なんだか胸がいっぱいになった。

これ以上書くとウツっぽくなるからやめるけど、  
そんな会だった。  
あたたかかった。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.10.14 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年10月 アーカイブ

06.10.11

## アビーロードの思い出

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

部屋の（大規模）片付けがやっと終わった。  
なんでこんなに時間がかかったかというと、  
ネコアレルギーとダストアレルギーで苦しくて長時間継続して掃除ができなかったせい。

まあ終わったからいいや。

今回はそうとういろんな物を捨てた。

いつもは、ずーっと使ってなかった物とか、  
あることさえ忘れてた物でも、  
見つけちゃうと惜しくなって捨てられなかったんだけど、  
なんでか、今回はもう十分だろって気持ちだった。  
だからいっぱい捨てた。  
しかし、ひとつのビン。

これはなんだか、せめて写真撮ってから捨てようって思った。



（ちなみにバックはジョン・レノンのポスターね。）  
2年生のフランス研修で、テロとテロの間にオプションツアーで日帰りで行ったロンドン。

探して探して、宮澤氏とたどり着いたアビーロードで、暑くてつい買ってしまったコーラ。

アビーロードですよ、アビーロード。  
ビートルズファンなら一度は歩いてみたいところですよ。

なんかね、初海外だったってのもあるし、  
ビートルズが来たところってのもあるし、  
このビンは惜しいんだ。

でもぎっといつかは手放すときがきてしまう。  
だから思い切って今捨ててみる。

これからは、物じゃなくて思い出だけ、  
心の中に大事にとっておくんだ。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.10.11 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年10月 アーカイブ](#)

06.10.06

## 10月4日のこと

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)



日本に帰ってきて早3週間。

私は東南アジアが大好きだったから、  
帰りたくないと思ったけど、  
やっぱり21年間育ってきた東京は、  
戻ってみればすぐ慣れて、  
フィールドワークの記憶はなんだか遠く儚い感じ。

この経験を共有していない人に伝えるのは至難の業だ。  
帰国後たくさん友人に会ったけれど、  
受け止める側にとっては東南アジアの話は常にどこかリアリティに欠けるようだ。

うーん、歯がゆい。  
ごく近い友人の体験さえリアルに受け止めるのは難しいとなると、  
世間一般の知らない人たちに、  
写真で何かを伝えるというのは果てしなく難しいことに思えた。

ちょっと気が重くなってしまった。  
でもやらなきゃ。

そしてそんな日常の中では、  
油断したらすぐに自分の中でもリアリティがなくなっていってしまう気がする。

それがこわい。  
安全な環境で、  
家族や友人に囲まれていたら居心地良く、  
これでいいやって思っちゃって、  
きっと色々なことを忘れてしまう。  
そうならない環境をつくる努力をしなければいけないよね。

と不忍池で思いました。

もう22歳だ。  
時間はあつという間に過ぎていくんだ。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.10.06 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年10月 アーカイブ](#)

06.10.02

## 10月1日 今日もバイト

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

今日は日本舞踊の撮影。

ひっっじょーーーーに疲れるのだ。

全部で66曲。  
時間にして7時間。  
7時間ファインダーのぞきっぱなし、

7時間常にシャッター半押し、  
(ゆっくりとはいえ動いている被写体だからね。。いつでも撮れるように常にピント合わせておかないと。)

7時間70-200の2.8レンズ支えっぱなし、

(三脚は使ってるけど、固定したら動かせないから緩めたままでもんね。。左手で支えないとレンズの重さでガンって前にいっちゃうもんね。。。)

そして7時間演歌。。。  
体力を消耗しつつ、睡魔とも戦わねばならないという、  
非常にエネルギーを要する撮影なのだ。  
撮影枚数、約1300枚。

撮影終了後、肩は硬直、シャッターを押していた右手人差し指はヒクヒク。



本番直前、練習する出演者のみなさん。



ホールは照明がすぎです。



このレンズの重さがにくい。



こんなような写真を撮るお仕事。



奥の黒い服の人が、私のボス。

バイトしたり、  
そこで業界の話を開いたり、  
大学生の友達の就活話を開いたり、  
すでに就職している友達の話を開いたり、  
仕事のクチを開いたり、  
最近こういう機会がやたら多いのですが、  
そのために社会の厳しさってやつを感じます。

小学校入学から15年間、  
ずーっと学校という枠の中で、  
ほどほどに、  
そこそこに、生きてきた自分が、  
半年後にはポイっと社会に放り出されるのですね。  
がんばらないわけにはいかないのです。  
なぜならば、働かないとお金がないからです。  
お金がないと食べれないからです。  
食べれないと死んじゃうからです。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.10.02 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)